



創立 昭和56年3月4日 例会場 名古屋東急ホテル 中区栄4丁目6番8号 TEL(052)252-8658
 例会日 毎週水曜日12:30~13:30 事務局 名古屋市中区栄4丁目6-3岡崎ビル北館2A TEL(052)253-9075
 会長：宇都木 寧 幹事：西村 努 会報委員長：加藤 昌之 題字：遠藤 友彦

例会報告

- ◆ 本日の例会 (第1985回) 12 / 2 (土)
 ~ 2023 年度 家族忘年会 ~
 名古屋東急ホテル 3階「錦の間」
 受付 17:00 ~ 例会 17:30 ~ 懇親会 17:50 ~
- ◆ 次回の例会 (第1986回) 12 / 20 (水)
 ~ クラブ年次総会を開催します ~
 ※12月13日 (水) 定款第7条第1節により休会
- ◆ 第1984回例会記録 11 / 29 (水) 晴
 司会 伊藤 晋一君
 斉唱 RS / 四つのテスト

出席報告

| | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 会員数 | 29名 | 前々回訂正 | 1982例会 |
| 欠席会員数 | 12名 | 欠席会員 | 4名中 |
| 出席会員数 | 17名 | MAKE UP | 1名 |
| 出席率 | 58.62% | 出席率訂正 | 76.47% |

会長挨拶

会長 宇都木 寧



先週日曜日の大河ドラマ「どうする家康」をご覧になりましたが、キモは慶長18年3月の家康秀頼の京都二条城での対面シーンにあります。

私もこれを見て「びっくり」秀頼も家康も直垂(ひたたれ)をきている。貴人の服装ではなく、武家の服装です。

武家の服装なれば戦でもするかということになります。

家康は、当時隠居といえども元右大臣、秀頼よりも元右大臣、秀頼は、五摂家と格が同じ五摂家筆頭つまり近衛家と同格の

豊臣家の当主です。公家です。

公家の服装ですから普段着の狩衣のはずです。

他方家康、こちらは隠居ですから、道服もしくは狩衣と推測されます。そして広間の位置関係「ひどい」の一言、寧々高台院の仲介の対面です。

寧々は従一位正一位おいなりさんの次に日本で偉い人です。

他方家康も従一位但し新参、ましてや秀頼は正二位まさしく「位が違う」広間上段の間に北政所こと寧々がすわり、上段の間の下の普通の座敷に家康。秀頼が座ると言う構造です。

間違いなく首がとびます、NHK 番組担当者は打ち首。

さらし首ですね。

さらにびっくり仰天大阪城の寧々、淀君、秀頼の対面です。

寧々様をなんと心得おる、従一位、他方淀君は無位無官(従五位下という説もありますが、それでも殿上人とは同席できません)下人にも等しき者広間に上座に寧々、そして下座に秀頼、淀君はせいぜい廊下板の間にいる身分です、秀頼には生みの母ということで尊敬もされ尊重とれますが、寧々の前では「控えおろう」です。

当時の人がドラマをみたら卒倒することでしょう。

では、これにて蘊蓄おしまい。

ロータリー財団月間卓話

国際ロータリー第2760地区
 グローバル奨学生・平和フェロー委員会
 委員長 近藤 朗



2760地区ロータリー財団グローバル奨学生・平和フェロー委員会委員長の近藤朗です。

本日は、ロータリー財団月間にあたり、皆さまからの大切なご寄付がどのように使用されているかを説明し、ロータリー財団へのご理解を深めていただけるよう卓話をさせていただきます。

宜しくお願い致します。

まず、財団の歴史についてです。

1917年6月、戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタ第8回ロータリー年次大会で、「世界でよいことをする」ための基金の設置を、アーチ・クランフ会長が提案したことに始まり、1928年に正式に「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が創設されました。

次に財団の概要です。

ロータリー財団は、皆さまからの寄付のみで運営・活動をしています。今年度、ロータリー財団管理委員会はこれまでで最高額となる5億ドルを寄付目標に設定しました。

内訳は、補助金の資金源となる年次基金は1億5,000万ドル、ポリオ根絶には5,000万ドル、それにビル＆メリнда・ゲイツ財団からの1億ドルの寄付が上乘せされます。

そして恒久基金で1億4,000万ドル、その他の現金寄付等で6,000万ドル、の合計5億ドルです。

皆様からのご寄付は、すべて、財団本部で管理しています。

昨年2022-23年度はクラブより年次基金おひとり150、ポリオプラスおひとりドル30ドルをご寄付いただきました。

ご支援ありがとうございました。

本年度の地区のロータリー財団寄付目標は、年次基金おひとり150ドル以上、ポリオプラスおひとり30ドル以上、恒久基金は、クラブでベネファクター1名、または、1,000ドル以上です。恒久基金について、更なるご協力をお願い申し上げます。

次にシェアシステムについてです。

要は、財団に集まった寄付をロータリアンの奉仕活動を行う時には、みんなでシェアをしましょう、ということです。

皆様からのご寄付は、3年間投資され、その収益が財団の運営に活用されます。

こうした資金の50%が地区財団活動資金(DDF)、残りの50%が国際財団活動資金(WF)となります。

これは、この金額がそのまま戻ってくる訳ではなく、使う権利がある、ということです。

次に、「何に遣われているのか？」支出についてです。

2021-22年度のロータリー財団の支出はその89%が、各プログラムとその運営費に使われています。

ポリオに一番お金を使っています。

その「ポリオプラス」についてお話しします。

ポリオは日本では、1940年代頃から全国各地で流行がみられ、1960年には北海道を中心に5,000名以上の患者が発生する大流行となりました。

そのため、1961年に生ポリオワクチンを緊急輸入し、一斉に投与することによって流行は急速に終息しました。

ポリオウイルスは、人の口の中に入って、咽頭や腸の中で増えることで感染します。

増えたポリオウイルスは、再び便の中に排泄され、この便を介

してさらに他の人に感染します。

神経系を侵し、場合によっては死に至る病ですが、現在に至るまで明確な治療法はありませんが、ワクチン接種によりポリオの発症が予防できることはわかっています。

そのためワクチン接種が推奨されています。

ロータリーは、1985年から「ポリオプラス」プログラムを開始し、1988年にはWHOと共に「世界ポリオ根絶推進活動」を立ち上げ、ポリオのない世界のために、先頭に立って活動してきました。こうした活動が実を結び、1988年に35万人いた感染者は激減しました。

ただ、昨年7月の新聞記事によれば、ニューヨークとロンドンで、下水からポリオウイルスが検出され、アメリカでポリオ罹患後の神経麻痺を認めた患者が発生し、8月にはロンドンでポリオワクチンのブースター接種が行われました。

これらは、ポリオがまだ『過去の病気ではない』ことを意味しています。すなわち、私たちの子供や孫たちも、今後ポリオに罹患する危険性がゼロはでないということなのです。

この危険性を限りなくゼロに近づけるためには、世界中でポリオの野生株を根絶させることが一番重要なのです。

これが達成できない限り、世界中でポリオワクチンを打ち続けていく必要があり、毎年このために、各国で、あるいはロータリーから多額の資金が拠出されているのです。

さらに、地区補助金についてです。

地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な活動を支援する補助金です。

来年2024-25年度は、2021-22年度の年次基金寄付額の23.75%が補助金申請可能額になります。

クラブの拠出金は0でも構いません。

申請要件としては、ロータリー財団の使命に沿っていること、ロータリー会員が積極的に参加することが大切です。

特定の人、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援、募金活動、ロータリー行事に関連する経費、受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付等々、補助金を受領する活動では、これらを行うことはできません。

この事に注意して計画を立ててください。詳細は『地区補助金授与と受諾の条件』をよくお読みください。

続きましてグローバル補助金についてです。

2ヶ国以上のクラブ・地区が、7つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす、大規模な国際的活動を支援する補助金です。

申請要件は、地区補助金と同様に、ロータリー財団の使命に沿っていること、ロータリー会員が積極的に参加することに加えて、2カ国以上のクラブ・地区が参加すること、最低予算3万ドル以上であること、持続可能性を担保すること、測定可能であることです。

このグローバル補助金の活動では、①受益社会の人びとがサ

ポートしていること、②ロータリー会員が主導すること、③測定可能な結果、数値化して残すこと、④補助金を使い尽くされた後も地域社会が自力で持続していけるものであることが条件になります。

グローバル補助金事業のひとつ、職業研修チーム(VTT)についてです。VTTとは、Vocational Training Teamの略で、専門家チームを海外に派遣して研修を行う、または、専門家チームを国内に招聘して研修を行う、職業奉仕事業であり国際奉仕事業です。

グローバル補助金奨学生についてです。

グローバル補助金の海外の大学院で、ロータリーの重点分野のいずれかに該当する分野を専攻する方を対象とした、返済不要の奨学金を給付するプログラムです。

以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定されました。実務経験は不要です。

皆様ご存じの日本人初の国連難民高等弁務官をつとめられた、緒方貞子さんや、軍縮担当国連事務次長の中満泉さんも財団奨学生でした。8月、9月、10月のいずれかに留学を開始する奨学金の申請は、6月30日までに財団に提出しなければなりません。奨学金候補者が出発する少なくとも3ヶ月前までに申請書を提出することが必要です。

一番重要なのは、受入国側のクラブを探すことです。

これが本当に大変で、毎年、相当な時間を要します。

平和フェロシップについてです。

平和を愛する人達のためのネットワークを構築するためのプログラムです。ロータリー平和センターは7つあり、8つの大学に設置されています。

このうち、5つのセンターでは、平和と開発に関する修士号取得プログラムを提供しています。

ロータリー平和フェローの申請には、3年以上の実務経験が必要です。

平和フェロー、グローバル補助金奨学生とも、優秀な候補者を探す上で重要な役割を担うのがロータリアンです。

素晴らしい人材の推薦にどうぞご協力ください。

ご清聴ありがとうございました。

ニコボックス

梅村美知容さん 柴山さん旭日双光章の授賞おめでとうございます。
ぐい呑みありがとうございます。

【久しぶりの例会です】

宇都木 寧君 足立陽一郎君 梶川 久雄君 西村 努君
中野愛弓さん 塚本 隆君 伊藤 晋一君 杉浦 正文君
梅村 篤君 吉村知紗さん 加藤 昌之君 香田 研二君
梅田 渉君

11月誕生日

11月1日 入江 由希子さん
11月9日 中島 宗幸君
11月20日 岩田 満治君
11月26日 渡邊 泰彬君

